



特集

路線バスのこれからを考える

豊かな未来を運ぶバス

大正時代から、私たちの足となり、
まちのにぎわいや人々のふれあいを生み出してきたバス。
帯広の「未来」を乗せて、バスは今日も走り続ける。
このまちを支え続ける路線バスの
「今」と「これから」について考えます。

問い合わせ

商業まちづくり課
(市庁舎7階、☎65・4165)

バス乗車体験でワクワクいっぱいの子どもたち

十勝のバス交通の現状

皆さんは普段、通勤・通学、買い物などの移動手段として路線バスを利用していますか。

現在、帯広市内では十勝バスと北海道拓殖バスの2社が、39路線1日当たり588便を運行しています。

昭和60年度には約1300万人いた帯広市内のバス利用者は、自家用車の普及などによつて利用者の減少が続き、平成22年度には約400万人まで減り、バス交通を経営的に維持していくことが、困難となる状況でした。(図1)

バス交通維持に向けた取り組み

バス利用者の減少が続く中、市とバス事業者などは、生活交通の確保や今後の住民ニーズに対応した総合的な対策に取り組むため、路線バスの維持や新しいバスサービスの展開などについて検討を行いました。

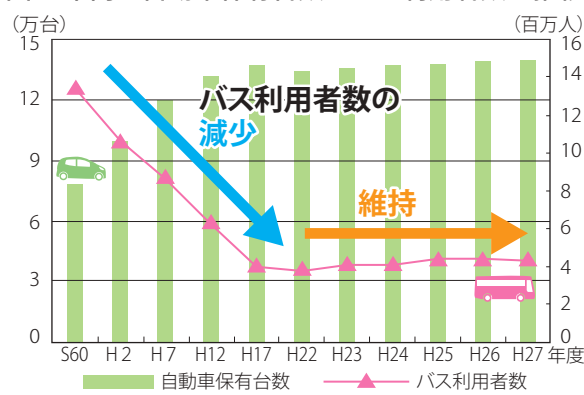
その中で、農村地区の予約制「乗り合いタクシー・バス」の運行を開始したり、全てのバス路線を網羅した「おびひろバスマップ」を作成したほか、バス事業者独自に、個別訪問によるバス利用のPRなどに取り組みました。これにより、帯広市内のバス利用者は

路線バスはなぜ必要？

路線バスや鉄道をはじめとする公共交通は、身体障害者や高齢者学生など自家用車を運転しない人にとって、日常生活を支える生活基盤であり、高齢化の進行などにより、誰もが利用できる公共交通が果たす役割は大きくなっています。また、地域住民はもちろん、外国人を含む観光客などにとっても利用しやすい公共交通の整備は地域の活性化に欠かせない要素の一つとなっています。

今号では、路線バスの現状と課題から、バス交通の必要性について考えていきます。

図1 市内の自動車保有台数とバス利用者数の推移



平成23年度には増加し、現在は440万人台を維持しています。



おびひろ

Public Information OBIHIRO

**平成29年
(2017年)**

No.1121

October

10

発行：帯広市
編集：政策推進部広報広聴課
〒080-8670
帯広市西5条南7丁目1番地
電話(0155)24・4111
FAX(0155)23・0151
帯広市ホームページ
<http://www.city.obihiro.hokkaido.jp/>

データで知る帯広

8月末の人口と世帯数

人口 ▶ 167,640人	(前月比－5人)
男 ▶ 80,047人	
女 ▶ 87,593人	
世帯 ▶ 87,158世帯	(前月比＋46世帯)

8月の火災発生件数

0件（前月比－4件）

8月の家庭ごみ排出量

ご み 量	2,733t
	(前年同月比＋159t)
資源ごみ(Sの日)量	658t
	(前年同月比－11t)

今月の紙面

とかちばん馬まつり 9



人が鉄ソリを引いて競う「人間ばん馬大会」のほか、多彩な飲食ブースや催しを行います。

■

自宅などで受けられる医療「在宅医療」…………… 7

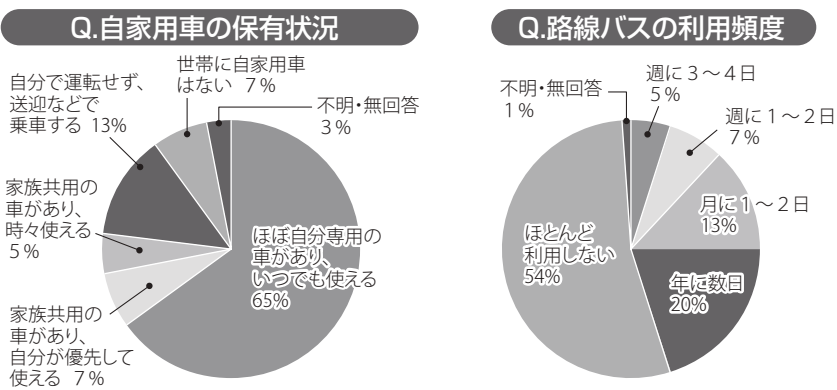
■

保育所・幼稚園などの入所申し込み…………… 8

■

10月は乳がん月間です…………… 20

図 2 市民アンケート結果



バス利用者の状況

昨年10月、市民3000人（回答数1069人）を対象に、路線バスの利用に関するアンケートを行いました。これによると、自家用車を保有している世帯は全体の約9割、自分専用の車があつて、いつでも使える人が約7割を占めました。一方で、約7割の人が日常的にバスを利用していないことが明らかになりました。（図2）

バスを利用しない理由としては、路線が少ないことや、都合の良い時間に乗れない不便さ、乗り方が分からないなどの不安があるといった意見がありました。

バスが果たす役割

バスには、学校や職場、買い物

バスを使うことによる利点

認知症予防につながる

運動する習慣のある人は、ない人に比べて認知症発症の危険度が3割ほど低いといわれています。バスを利用すると、停留所までの往復や目的地までの移動で、無理なく運動することができます。

認知症の発症率

運動習慣	発症率
運動習慣なし	1.0
運動習慣あり	0.7

認知症疾患治療ガイドライン 2010より（日本神経学会）

車の維持費がかからない

1000CCの車を持っているだけで、保険・税金・駐車場代などで1日約2000円かかっているといわれています。普段あまり車に乗らない場合、車を手放して公共交通機関で移動した方が、かかるお金は少なくなります。

事故に遭う危険度が下がる

年齢を重ねると、気付かないうちにとっさの判断が遅れたり、ちょっとした勘違いが多くなります。自動車運転者の年齢層別の死亡事故件数でも、年齢が上がるにつれて増加しています。

年齢層別免許人口10万人当たり 死亡事故件数

年齢層	死亡事故件数（件/免許人口10万人）
75歳以上	9.5
70～74歳	8.5
65～69歳	4.5
60～64歳	4.0
50歳代	3.5
40歳代	3.0
30歳代	2.5
25～29歳	2.0
16～24歳	1.5

平成29年交通安全白書より（内閣府）

まず、バスに乗ってみよう

自家用車ではなく、バスを利用することで、どんな利点があるのか、またバスを利用する上で知っておくと便利なことや、目的別に利用できるサービスを紹介します。

車の維持費がかからない

維持費

教えて！
運転手さん

新人広報スタッフが聞いてみました

高校時代はずっと自転車通学で、バスでの移動は不慣れですが、運転手さんに、乗り方のコツを教わりたいと思います！

広報広聴課インターンシップ生 鎌田智行さん（帯広市出身）

目的地に行くためのバスや、最寄りの停留所を簡単に調べられますか？

パソコン、スマートフォンで調べることができる「もくいく」が便利です。近くのバス停を検索し、目的地を入れれば、どの系統に乗れば良いかや、発着時間を調べることができます。

もくいく～路線バス目的地検索～

バスが来るまで、あとどれくらい待てばいいか分かると便利なのですが。

スマートフォンアプリ「PINA」を使用すると、乗車予定のバスが現在どの地点にいるかと、乗車予定のバス停への到着時間が確認できます。

PINA～バスロケーションサービス～

ペットと一緒にバスに乗ることはできますか？

ペットは、ふたが閉まり完全に収納できる専用ケースなどに入っていれば、車内へ連れて乗れますよ。

十勝バス 佐々木 智彦 運転手

北海道拓殖バス なかすて 中捨 道夫 運転手

バスの乗り方

普段乗らないと、意外と知らないバスの乗り方を紹介します。

①目的地の系統をバスの先頭にある方向幕で確認し、乗車してください。

行き先がよく分からないときは乗務員にお尋ねください。

中央のドアから乗車

前のドアから降車

②乗車口の右横にある整理券を取ってください。

整理券を忘れずに

③目的地の停留所がアナウンスされたら、降車ボタンを押してください。

次、止まります

④前方の運賃表で金額を確認し、バスから降りる際に、整理券と現金を入れてください。

整理券の番号と同じ番号のところに表示されている数字が運賃です

【ご案内】

11月頃より、十勝バスが運行する畜大線や北海道拓殖バスが運行する一中・療養所線、運転免許試験場線（柏林台）などの路線の一部またはダイヤが変更となります。日程・詳細などについては、10月以降にバス車内などに掲示します。

バス利用で心にゆとり 趣味の幅も広がる

自分に合った趣味を見つけようと市の講座を探し、高齢者いきいきふれあい館「まちなか」で無料で実施している「脳が喜ぶ！心が笑う！臨床美術」に興味を引かれ、参加しています。

普段は自家用車を運転しますが、「まちなか」には駐車場がないため、「高齢者バス無料乗車証」を利用して通っています。

バスを利用してみて感じたことは、車は運転に集中しなければなりません、バスは乗っているだけで目的地まで安全に移動ができ、とても気持ちが楽なことです。

バスの利用で趣味の幅も広がり、知り合った友達と、笑いながら過ごす時間を楽しんでいます。

高齢者いきいきふれあい館「まちなか」(西2南7、帯広信金第3ビル、☎67・6799)



高齢者いきいきふれあい館「まちなか」利用者
木村 美代子さん(70代)



まちなかでの講座の様子

あいのりタクシー・バス

○出発時間の45分前までに運行会社に電話で予約
＜問い合わせ・予約先＞
あいのりタクシー：大正交通(☎0800・800・5551)
あいのりバス：毎日交通(☎0120・999・094)
※前日までに予約が必要となる便があります。

○運賃はお住まいの地区により異なります

- ・中学生以上は大人運賃
- ・回数券、通学定期券の販売あり
- ・高齢者バス無料乗車証の使用可
- ・療育／身体障害者／精神障害者手帳を持つ人は半額

大正地区「あいのりタクシー」・ 川西地区「あいのりバス」

市内中心部と、川西・大正地区をつなぐ公共交通として、乗り合いで移動する予約制の「あいのりタクシー」(大正地区内・市中心部)

部」と、「あいのりバス」(川西地区・市中心部)を運行しています。詳細は各運行会社にお問い合わせください。

バスを使って元気におでかけ(高齢者おでかけサポートバス事業)

高齢者の皆さんの、健康と生きがいづくりを支援するため、満70歳以上の市民を対象に「高齢者バス無料乗車証」を発行しています。乗降地のいずれかが帯広市内であれば、市内分の運賃が無料になります。

申請方法 本人確認書類(保険証など)と印鑑を持って、交付窓口へ。交付窓口で顔写真を撮影するので、必ず申請者本人がお越しください。

問い合わせ・交付窓口 高齢者福祉課(市庁舎2階、☎65・4145)、平日、9時30分～16時30分
交付料 500円(交付時に窓口)

で支払い、再交付時も同様)

モビリティ・マネジメント 教育

市では、市民の意識を「過度に自動車に頼る状態」から「公共交通や徒歩などを含めた多様な交通手段を適度を利用する状態」へと少しずつ変えていくモビリティ・マネジメントの取り組みを進めています。これまで、バス事業者、バイオディーゼル燃料(BDF)製造業者、帯広運輸支局と連携し、市内小学校や帯広市高齢者学級などで出前講座を開催しています。

小学生向けの出前講座では、低学年は紙芝居や「交通すごろく」などを使って、楽しみながらバスの乗り方やマナーを学びます。中・高学年は、運輸と地球温暖化の関係や環境に優しい公共交通、使用済みてんぷら油を燃料に再生するBDFについて学びます。また、BDFで走るバスに乗りし、バスの乗り方や降り方を実車で学びながら、環境とバスに対する興味や関心を高めています。



バスの乗車体験にドキドキ

高齢者向けの講座では、環境と公共交通について学ぶほか、自動車の年齢別事故率や二酸化炭素排出量、健康に関する情報提供を通じて、過度に自動車を利用せず、徒歩やバスといった移動手段の利用を呼び掛けています。

バス事業者がおすすめする！ お得なバスの使い方



お得なバスプランがいろいろあるので、ぜひタイプに併せて利用してみてください！

詳細は、帯広駅バスターミナル(☎23・5171)か、十勝バス(☎37・6500)、北海道拓殖バス(☎31・8811)へ問い合わせください。

十勝バス

検索

北海道拓殖バス

検索

おすすめのバスの使い方 診断チャート

スタート

普段は車で移動することが多い

いいえ

バスをよく利用する

はい

タイプD 買物共通バス券

60歳以上で、最近運転に不安がある

はい

家族に学生がいる

いいえ

タイプC 小学生・中学生 休日市内割 学生ワイドフリー

タイプA 免許返納者割引制度

はい

タイプB 日帰り路線バスパック

いいえ

タイプA ⇒ 60歳以上のドライバーの皆さんには…
免許返納者割引制度

運転免許証を自主返納した人は、バス運賃が半額になります。高齢者の交通事故が増えて、運転に不安を感じている人には、お得で安全ですよ。



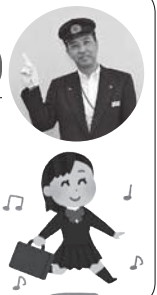
タイプB ⇒ ガーデンや温泉巡りをしたい人は…
日帰り路線バスパック

たまには車を運転せず、十勝をゆっくり観光してみたいかですか。施設利用券とバス往復乗車券がセットになった十勝を堪能できるバスパックです。花やガーデンが好きな人、温泉を満喫したい人など7種類のパックがあります。



タイプC ⇒ 休日にバスでお出掛けしたい学生さんには…
小学生・中学生休日市内割/学生ワイドフリー

休日、帯広市内であれば小学生は100円、中学生は200円で乗車できます。また、通学定期券を使っている人は市内区域内乗り放題となる定期券があるので、学生で家と学校以外の移動が必要な人にはお得です。



タイプD ⇒ バスをよく利用する人には…
買物共通バス券

まちなかで買い物を楽しみませんか。帯広市商店街振興組合の参加店で2000円以上の買い物をすると、100円の「買物共通バス券」がもらえ、大変お得ですよ。



私たちとまちの未来を支える 大切な存在「路線バス」

路線バスは、私たちの足となり、人々の生きがいを支え、まちの元気を生み出す大切な存在です。5年後、10年後の私たち自身の移動手段や暮らし方、この地域の

未来を考えたとき、路線バスが私たちの暮らしを支える存在として在り続けるために、私たちみんなで路線バスを利用し、バス交通を守る必要があります。自動車はとても便利ですが、たまには、運転を気にせず、周りの景色や読書を楽しみながら、バス

ならではの安全性や便利さを感じてみたいかがででしょうか。今までの時間や生活、これまでとはひと味違う、十勝・帯広の良さが見えてくるかもしれません。ぜひ、これを機に、私たちの豊かな未来を運ぶ「路線バス」をご利用ください。